

北九州市立図書館がおすすめする本の一部です
参考にしてください



こんぴら狗

今井恭子／作 いぬんこ／絵
くもん出版

飼い主・弥生の病気が治るようお祈りする
ため、犬のムツキは江戸から讃岐の金毘
羅さんまでお参りに出され…。往復の長い
旅路と、道中のさまざまな出会いや別れを
描く。

ボーダレス・ケアラー

山本悦子／作
理論社

祖母が飼っていた犬の豆蔵が死んでひと
月。海斗は豆蔵の空のリードを持って散歩
をすると、生と死のはざまに立っている存
在「ボーダー」の姿が見えることに気がつ
いて…。

松本清張記念館

中学生・高校生読書感想文コンクール
課題図書

「点と線」
『点と線』文春文庫、新潮文庫

「或る『小倉日記』伝」
『或る「小倉日記」伝』新潮文庫

「地方紙を買う女」『張込み』新潮文庫

北九州市立図書館の連絡先一覧

図書館名	電話	所在地
中央図書館	571-1481	小倉北区内 4-1
子ども図書館	571-0011	
地区図書館	門司	321-6515 門司区老松町 3-3
	小倉南	952-4511 小倉南区若園四丁目 1-60
	若松	761-2942 若松区本町三丁目 11-1 ベイサイドプラザ若松 3 階
	八幡	671-1123 八幡東区尾倉二丁目 6-1
	八幡西	642-1186 八幡西区岸の浦二丁目 2-1
	戸畑	871-3464 戸畑区新池一丁目 1-1
分館	大里	371-4646 門司区高田二丁目 2-18 大里柳市民センター 2 階
	新門司	481-1153 門司区吉志新町二丁目 1-1 新門司地区複合公共施設 1 階
	そねっと	475-0120 小倉南区下曾根四丁目 22-1 曾根出張所 2 階
	島郷	701-3991 若松区鴨生田二丁目 1-1 島郷合同庁舎 2 階
	折尾	601-1999 八幡西区堀川町 5-23 オリオンテラス内
	八幡南	618-8441 八幡西区茶屋の原一丁目 6-1 八幡南出張所 2 階

<問い合わせ先・読書ゆうびん送り先>

北九州市立子ども図書館

学校図書館支援係

〒803-0813

北九州市小倉北区内 4-1

TEL 571-0011

毎月 23 日は、読書の日

夏の読書カード

チャレンジ
しよう!



- ・読書の記録
- ・家読（うちどく）
- ・読書ゆうびん

中学校 年 組

名前



夏の間も

楽しく本を読みましょう!



ぼくたちのスープ運動

ベン・デイヴィス／作
渋谷弘子／訳
評論社

新しい学校での生活を始めたジョーダ
ン。ママが持たせてくれた温かいスープを
ホームレスの人にあげたことから広がって
いった「スープ運動」。どんどん広がって、
それがいつしか…。

手で見るぼくの世界は

樫崎 茜／作
くもん出版

視覚支援学校に通う佑と双葉は、この春
から中学 1 年生。しかし双葉はある事件を
きっかけに、家から出られなくなってい
まう。それぞれの葛藤を乗り越える姿を描い
た物語。

たまごのはなし

しおたにまみこ／作
ブロンズ新社

たまごが、ある日とつぜん目を覚ました。
はじめて歩き、はじめて話す。マシュマロ
を起こして、キッチンの台を降り、探検に
出かける。読むほどに引き込まれる不思議
なお話。

読書の記録

☆ 今年の夏の読書の目標

ぼく・わたしは、7月～8月に 冊 本を読みます!

※下の表に、読んだ日、本の題名、おすすめ(○)を記入しましょう。

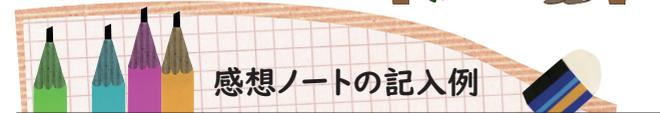
読みはじめた日 ↓ 読み終わった日	読んだ本の題名	おすすめ	読みはじめた日 ↓ 読み終わった日	読んだ本の題名	おすすめ
月 日 ↓ 月 日			月 日 ↓ 月 日		
月 日 ↓ 月 日			月 日 ↓ 月 日		
月 日 ↓ 月 日			月 日 ↓ 月 日		
月 日 ↓ 月 日			月 日 ↓ 月 日		
月 日 ↓ 月 日			月 日 ↓ 月 日		
月 日 ↓ 月 日			月 日 ↓ 月 日		
月 日 ↓ 月 日			月 日 ↓ 月 日		
月 日 ↓ 月 日			月 日 ↓ 月 日		
月 日 ↓ 月 日			月 日 ↓ 月 日		
月 日 ↓ 月 日			月 日 ↓ 月 日		
月 日 ↓ 月 日			月 日 ↓ 月 日		
月 日 ↓ 月 日			月 日 ↓ 月 日		
月 日 ↓ 月 日			月 日 ↓ 月 日		

※自分が読んだ本を、友達など多くの人に読んでもらいたいと思ったら、「おすすめ」の欄に○を付けてください。

家読(うちどく)にチャレンジ

「家読(うちどく)」とは、「家族で読書」することです。家族みんなで同じ本を読んで、その本の面白かったところや、よかったことなどを話し合ってみましょう。

「家読」をしたら、『感想ノート』を作ることをおすすめします。家族の読書の記録として、また、成長の記録として残すことができます。記入例を参考にして、家族で取り組んでみましょう。



本の名前	読んだ人	家族の感想
〇〇〇〇 〇〇	私	読んでいてドキドキしたけど、なんでも正直に言うことが大切なんだって思いました。
作者 筆者	母	お母さんも小さいときに読んだよ。懐かしく感じながら読んでいると、子どもの頃を思い出しました。
△△△	父	登場人物について教えてくれてありがとう。新しい発見があったようだね。
□□□□ □□		
おすすめ	妹	おねえちゃんによんでもらってうれしかった。またよんでね。
○		

この本を「ほかの人におすすめしたい」と思ったら、「おすすめ」の欄に○を記入しよう

感動した本を「読書ゆうびん」で紹介しよう



「読書ゆうびん」とは?

読んでもらいたい、たくさんの人にすすめたいと思う本を、郵便はがき形式で紹介するものです。読んだ感想や印象を文やイラストで伝え合うことで、よい本に出会い、読書に親しむきっかけができます。

また、はがきで自分の思いを相手にわかりやすく伝えようとする中で、表現力を伸ばすことにもつながります。

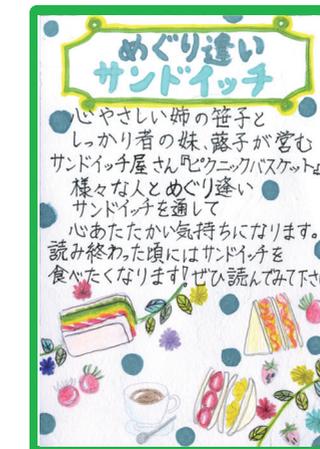
おすすめの本に出会えたら、「読書ゆうびん」を子ども図書館にも送ってください。

(宛先:裏表紙参照 送付期限:9月12日)

※はがきの表に、学校名、学年、氏名を明記してください。届いた「読書ゆうびん」は、館内で展示させていただくことがあります。

参考作品

令和4年度に届いた「読書ゆうびん」



「めぐり逢いサンドイッチ」
作 谷 瑞恵



「カモメに飛ぶことを教えた猫」
作 ルイス・セプルベダ